

～～第8615回～～

冬山登山講習会（双子山）

～H31. 2. 2-3～

2日間快晴、無風で素晴らしい雪景色が楽しめた冬山登山講習会で、冬山の厳しさは味わえなかった。御殿場駅前に集合後、富士山御殿場登山口の訓練会場に向かう。10センチほど雪が積もった会場広場で、それぞれテントを設営後、11:00から開講式、講師紹介、諸注意を受けてから早速、初級B6名、中級6名、指導者1名、顧問8名、高校生32名に本部役員23名が加わって1日目の講習開始。我々初級B(ピッケル、アイゼン、ワカンが用意出来る者)は会場広場から先頭を適宜交代して双子山の下塚の麓に向かい、途中の雪斜面で登山靴の先端を蹴り込むキックステップ登山方法やアイゼンの脱着を何回も、繰り返し繰り返し行った。ピッケルのピック(尖ったほう)を雪斜面に突き刺して転倒時の滑落停止訓練も繰り返し行った。みっちり3時間ちょっとの訓練を終えて16:00にテント場に戻り、夕飯の支度に入る。高校生や引率の先生方も多く、広場には雪の上に15～20張り程のテントが並んだ。我々の6人用テントへは3名で、夕飯は牛肉と豚肉のしゃぶしゃぶで野菜もたっぷり入れたのでビール、日本酒、サルナシ酒が美味しく飲めた。2日目は4:30起床、雑炊で朝食を済ませて6:00集合出発。本日は双子山の下塚を海側から頂上まで登り、宝永山側に下って更に上塚の頂上まで登った。途中、ワカンやアイゼンを2回脱着させ、上塚に登る雪の急斜面でも滑落停止訓練や突風に耐える耐風姿勢の取り方も訓練した。滑落停止時は仰向けに転んでも素早く腹が下になるように半回転する訓練を繰り返した。耐風姿勢は足を大きく開いて山側にピッケルを突き刺して足とピッケルが大きな正三角形になる様に訓練した。この様な訓練をしたが、転ばない歩き方が大事だと言われた。この他、ピッケルやストックを持っていない時の雪上斜面転倒時は肘と膝を雪に突き立てる様にして止める方法も実施した。2日目も11:20までみっちり訓練をやってかなり体力を使った。我々の訓練場所の少し下方の雪斜面で静岡県警山岳救助隊員が10名位で救助訓練をやっていた。2日間で感じた事は、若くて体力のある人が先頭に立つと自分のペースで後ろの確認もしないで途中間が開いてもどんどん行ってしまい、最後尾の指導員から注意されても次回同じ様に歩いてしまう。雪山は特に後方の小柄な方への配慮で足幅を短くすることも大事だと思った。この冬山登山講習会は県岳連の資格のある指導員が基本から教えてくれるから、雪山をやらないワングル会員も有事の際に慌てない為にも受講を薦めたい。帰りは御殿場会館温泉で入浴後、静岡駅前で解散した。

参加者：2名（静岡北）他の団体と役員74名、総勢76名

天候：①快晴 ②快晴

地図：富士山

コースタイム：①御殿場駅前900＝富士山御殿場口1030…開講式1100-1130…雪上訓練1130-1600(テント泊) ②雪上訓練600-1120＝御殿場温泉会館＝静岡1530

記録：会長代行 市川隆夫 記



双子山(二ツ塚)下塚山頂



上塚斜面での滑落停止訓練